

# 梅 檀

大自然の中で 秋を見つけた 一年生

一年生は十一月十日に森林公園で自然散策を行いました。子どもたちは小さな秋（木の実や葉っぱなど）を見つけると即座に「ほら、見て」と見せにきます。無邪気で純粋な姿に心が洗われます。最後は自分の拾った一番見せたい秋を一齐に披露。「校長先生きれいでしょ、これ」「これねえ、あっちでひろった。大きい？」それぞれが秋を語ります。



## 貴重な水を学ぶ 四年生

四年生は十一月十一日に福地ダムと浄水所に行きました。ダムにためられた水がどのようにして、私たちの飲み水になるのかを学びました。施設の方が

説明する中、自分から質問する姿がたくさん見られました。子どもたちの学ぶ意欲は本当にすごい！最後の感想発表は、学んだことを踏まえて考えたことと感謝の意を述べていました。原稿なしです。



## 民話の世界に引き込まれる おかつ民話の

十一月十日、荒石かつえさんという、民話を語る方が来校し、子どもたちに三つの民話を語ってくれました。子どもたちは、おかつさんの話しに引き込まれ、夢中で聞いていました。語りが終わった後、荒石さんのところに自然と子どもたちが集まり、質問したりお礼を言ったのりしていました。



## 全ての子どもたちの学びを保障するため

国頭村の小中学校は村教育委員会が主体となって「全ての子どもの学びを保障する」ために「主体的・対話的で深い学び」の授業改善を行っています。その一環として、今年も学びの共同体スーパードバイザー佐藤雅彰先生をお招きし、校内研修会を実施しました。佐藤雅彰先生からは、ペアやグループ活動を中心に子どもたちの声をつなぐことの大切さなどを教えていただきました。その中でも、一年経つと子どもたちがずいぶん落ちついている姿に驚いていました。「予測不可能な世の中を生き抜いていく子どもたちのために、今どんな力を子どもたちにつければよいか。子どもたちが生き生きと学ぶためにはどうすればよいか、子どもたちをどう見取ればよいか。」研修を受ける先生方の目はとても真剣でした。



5年生が代表で研究授業を行いました



研修の様子

## 最近困ったこと

最近、学校にお菓子のカラやペットボトルがよく捨てられています。自分のワガママで、みんなの学校を汚くしているのだという自覚はないのでしょうか。見かけたときはぜひ声かけをお願いします。

